

# 青少年いわて

2021年11月発行 No.86

## 岩手県青少年育成県民会議会長就任挨拶

### 菅野 洋樹

本年6月に会長に選任された菅野洋樹です。何分にも微力ではございますが、平井前会長を始め皆様が築いてこられた県民会議の精神を引き継ぎ、発展させるため、できる限りの力を尽くして参りますので、皆様方には変わらぬ御支援御協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、現在の青少年を取り巻く環境は、大変、憂慮すべき状況にあります。「いじめ」や「不登校」に悩み、社会参加や生活適応に困難を抱えている子ども・若者の増加や、いわゆる「格差」や「貧困」といった問題が、コロナ禍で日々の生活や活動が制限される中、人々の不安や社会的な孤立・孤独により、更に深刻さを増していることが懸念されております。

しかし、こうした困難な状況にありましても、子どもが人としての基礎を培う大切な場である「家庭」を基本に、「学校」、「地域」そして私ども青少年育成団体等が子どもにしっかりと寄り添い、その成長を見守り支えることができれば、「次代を担う青少年の

健やかな成長と自立」は決して不可能ではないと、これまでの取組を通じて確信いたしております。

思い起こせば、東日本大震災津波発災の夜に学校に備え付けられた物品を全て被災者に提供しグラウンドの真ん中で寒さに震えていた子どもたち、避難所で手を真っ赤にしながらか被災者の食器を洗っていた子どもたちなど、岩手の子どもや若者が示してくれた、やさしさ、力強さを忘れることはできません。

このような素晴らしい資質を持った子どもや若者が誇りと希望を持ち活躍する姿はすべての県民の願いであり未来であります。青少年の健やかな成長のため、これまでの県民会議の歩みを大切にしながら、新たな取組の推進にも精一杯努めて参りますので、会員各位を始め、関係諸団体の皆様の御理解と積極的な御提言をお願いし、就任にあたっての挨拶いたします。



菅野 洋樹 県民会議会長

元岩手県教育委員会教育長

令和元年6月 当会議副会長就任

令和3年6月 当議会議長就任

## 令和3年度通常総会・令和2年度県民会議表彰

6月16日水曜日、いわて県民情報交流センター(アイーナ)で岩手県青少年育成県民会議の通常総会が開催されました。昨年度に引き続き、今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、会員の皆様のご理解、ご協力のもと、規模を縮小しての開催となりました。

例年、通常総会の席上で行われていた岩手県青少年育成県民会議表彰式についても、今回は誌面での紹介のみを行い、表彰対象者及び対象団体には後日、賞状と記念品を謹呈いたしました。

お二人のより一層のご活躍を祈念いたします。

### 青少年育成指導者

小笠原 靖 氏

(日本ボーイスカウト岩手連盟・北上市)

吉田 和宏 氏

(日本ボーイスカウト岩手連盟・盛岡市)

### トピック

- 菅野 洋樹 県民会議会長就任挨拶 ……P1
- 令和3年度通常総会・令和2年度県民会議表彰 ……P1
- 令和3年度青少年を非行・被害から守る県民大会 ……P2
- 第23回わたしの主張岩手県大会 ……P2-3
- 告知・広告 ……P4



# 令和3年度青少年を非行・被害から守る県民大会

令和3年7月14日（水） 小田島組☆ほ〜る（いわて県民情報交流センター（アイーナ）7階）

7月14日（水）「令和3年度 青少年を非行・被害から守る県民大会」をいわて県民情報交流センター（アイーナ）7階小田島組☆ほ〜るで開催しました。昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、参集者を最大100名に限定し、希望者への資料送付・オンライン動画配信による開催となりました。

意見発表では、昨年度「わたしの主張岩手県大会」最優秀賞の鈴木凜（すずき りん）さんは、「生き続ける」と題し発表、また作文発表では“社会を明るくする運動”作文コンテスト岩手県推進委員会委員長賞の山田明希（やまだ あき）さんは、「気づいてあげられる優しさ」と題し発表しました。

また、講演では、岩手県小児科医会会長、日本小児科医会理事等として御活躍されており、地域の子どもたちと、絵本の読み聞かせ、野外活動、スポーツドクター、小児の事故予防活動、心肺蘇生普及活動、禁煙指導、健全育成等に多大なご尽力をいただいています、三浦義孝（みうら よしたか）氏から「コロナ禍に関わらず、抱っこは“心の基地”である」～子どもたちを非行・被害から守るために～と題し、「抱っこの魅力」と「児童虐待」等についてお話しをいただきました。

大会の最後に、青少年の非行・被害防止のための決議提案があり、参加者からの拍手をもって採択され、閉会しました。



主張発表をする鈴木さん



作文発表をする山田さん



三浦氏による講演会

## 第23回わたしの主張岩手県大会

令和3年9月15日（水） 岩手県庁8階会議室

「第23回わたしの主張岩手県大会」審査会が9月15日（水）に岩手県庁8階会議室において開催されました。

今大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、発表者を参集しての開催を取り止め、また、審査方法を作文及び映像による審査に変更し実施しました。各地区大会から選出された代表者17名が未来に向けての夢や希望、日常生活の中で感じていることや考えたことなど、それぞれの思いを発表しました。

「挨拶」という題目で発表した滝沢市立柳沢中学校3年の高橋美花さんが大会の最優秀賞に選ばれ、優秀賞には2人、優良賞には3人の生徒が選ばれました。

また、最優秀賞を受賞した高橋美花さんについては、国立青少年教育振興機構が主催する「少年の主張全国大会」の候補者として、北海道・東北ブロック審査会に推薦しております。

なお、今年度の全国大会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、開催方法をWEB開催に変更して実施されます。



映像審査の様子



入賞者を選考する選考委員

# わたしの主張岩手県大会 入賞者一覧

<b>最優秀賞</b>	滝沢市立柳沢中学校 3年	<b>高橋 美花</b>	「挨拶」
<b>優秀賞</b>	八幡平市立西根中学校 3年	<b>工藤 ほのか</b>	「SHINE」
<b>優秀賞</b>	花巻市立花巻北中学校 3年	<b>留場 優那</b>	「光」
<b>優良賞</b>	盛岡市立下橋中学校 3年	<b>林 美羽</b>	「ありのままの自分を受け入れて」
<b>優良賞</b>	奥州市立東水沢中学校 3年	<b>藤代 菜央</b>	「希望のある社会へ」
<b>優良賞</b>	釜石市立大平中学校 3年	<b>菅原 小雪</b>	「弱いからこそ」



高橋 美花 さん



工藤 ほのか さん



留場 優那 さん



林 美羽 さん



藤代 菜央 さん



菅原 小雪 さん

## わたしの主張岩手県大会最優秀賞

### 『挨拶』

今年参加した進学セミナーで、講師の看護師さんが、こんなお話をしてくれた。

「働き始めた頃は、自分が役に立っているのか実感できずに、悩んでいました。でも、悩みながらも、患者さんとのコミュニケーションは毎日欠かさず、自分に何か力になれることがないか、探していたんです。するとあるとき、『いつも話し相手になってくれて嬉しいよ。ありがとうね。あなたのおかげで元気が出るよ。』と言ってくれた患者さんがいました。そんな出来事があった、私は挨拶や会話によって、患者さんの心の支えになれることが分かったんです。」

元気が出る挨拶って、なんだろう。私は、セミナーに参加する前から、日常的に挨拶をしている。でも、家族も、友達も、私と挨拶を交わした人が元気になっているだろうか。答えはノーだと思う。では、看護師さんの挨拶と、私の挨拶は、何が違うのだろうか。

看護師さんは、患者さんのその日の気分や体調を、挨拶をしたときの、表情や声のトーンから読み取って、そのあとにかける言葉を考えるそうだ。挨拶をしながら、相手のことを考えているということだ。

では、私はどうだろう。「おはよう。」私は、挨拶はするけれど、挨拶だけだ。そこで完結している。挨拶のあとには何も無い。自分ではきちんとしていたつもりなのに、形式的なものだったのだ。これでは、看護師さんの挨拶には程遠い。

セミナーに参加した次の日から、私は意識を

### 滝沢市立柳沢中学校 3年 高橋 美花

変えた。「なにかいいことあったのかな」「いつもより元気ないな。」挨拶をしたときの表情や声のトーンから、相手の気持ちを考えて、話題や言葉を選ぶようにしてみた。すると、そのあとの会話が以前よりも弾んだ。友達が相談してくるようになった。私の挨拶で、相手が元気になったのかは分からない。でも、相手と心が通った、そんな実感があった。挨拶をしたあとに、どれだけ相手のことを考えられるか、それこそが、より良いコミュニケーションのために必要なことではないだろうか。セミナー参加後の自身の実践から、私は、相手のことを考える姿勢、相手に歩み寄る姿勢が、相手との心の距離を縮めることに気付くことができた。

だから私は、近い将来、看護師になったときに、挨拶から始まるコミュニケーションを何よりも大切にしたい。そして、挨拶や会話の積み重ねによって、患者さんが、私に対して、気軽に相談ができるような関係を築いていきたい。

あなたは、コミュニケーションのことで悩むことはあるだろうか。挨拶は、人と人との関わりの、スタートラインにすぎない。相手を思いやる姿勢があれば、そのスタートラインから一歩前に踏み出せる。誰かの歩み寄りを持たず、自ら一歩を踏み出すことで、結果が変わってくるはずだ。だから私は、今日も挨拶をする。「おはよう」



高橋 美花 さん

# 正会員・協賛企業募集

県民会議では新規会員及び協賛企業を募集しています。  
次世代を担う青少年の健全な育成を共に目指しませんか。

## 1. 会 員

会員には、県内各地で開催するイベントやシンポジウム等にご案内するほか、青少年に関する各種資料をお送りします。

## 2. 協賛企業

県民会議HPバナー広告、広報紙「青少年いわて」への広告、県民会議封筒への広告を有償で掲載させていただきます。

## 3. 会 費



個人会員	正会員	3千円/年
	賛助会員	12千円/一口
団体(法人)会員	正会員	6千円/年
	賛助会員	25千円/一口

## 4. その他

お問合せ・お申込みについては、県民会議  
(019-681-9077) までご連絡ください。



# 青少年育成講師派遣事業

地域で活動する団体・グループが行う、青少年の育成に関わる研修会、講習会、会合等に講師を派遣するとともに、研修会等のプログラム案を作成・提案します。

## 対象団体

青少年育成市町村民会議、青少年育成団体、青少年団体・グループ、PTAその他の団体



## 支援内容

1. 支援対象団体が、研修会等の開催にあたって、講師の派遣を求める場合、県民会議が保有する講師人材リストに登録の講師から、研修会等のテーマに即した講師を派遣します。
2. 団体が研修会等の開催にあたって、プログラム案等の提案の求めがある場合、県民会議は研修会当の目的に沿って企画及び講師等の提案を行います。

## 派遣期間

派遣の要請に応じるのは、**2022年1月末日**までに申請があったものです。

## その他

申請方法等、詳細についてはホームページでご確認ください。

## 毎月第3日曜日は「いわて家庭の日」



岩手県青少年育成県民会議では、  
青少年を守り育てる運動として  
『いわて家庭の日』  
を主唱しています。

家族そろって食事をしましょう

家族でいろいろ話す時間を多くしましょう

家の仕事をみんなでしましょう

食事の準備、後片付け、掃除、洗濯など

語り合い、教え合い、支え合いを大切にしましょう

家族の絆、思いやりを育むように心がけましょう

早寝早起き朝ごはん

家族でルールを決め、生活リズムを整えましょう

事業所などでも、家庭生活を支援できる職場づくりをしましょう

推進協力 岩手県・岩手県教育委員会・岩手県警察本部

## 情報発信中♪



@ya\_center



@yacaiina



@vzi4606t

センター HP : <https://www.aiina.jp/site/seishounen/>  
県民会議 HP : <http://www.ipayd.server-shared.com/>

匿名でOK  
秘密は固く守ります!  
どんなことでも  
お気軽にご相談  
ください

# 青少年なやみ相談

進路 いじめ  
親子関係  
体のことなど

たえば  
こんなこと...

誰にもいえない  
どうしていいかわからない  
困っているとき 苦しいとき 不安なとき

**思いきって  
話してみませんか**

電話番号  
(相談専用)  
**019-606-1722**

みなさんはもちろん、家族、周りの大人の方からの相談にも応じます

●相談時間(電話・面談)●  
**9:00 ~ 16:00**  
(月・木のみ 9:00 ~ 20:00)

※土日祝もOKです  
※面談は予約が必要です

●メール受付時間●  
**24時間**

[nayami@aiina.jp](mailto:nayami@aiina.jp)

※返信は遅れることがあります

青少年活動交流センター アイーナ青少年 検索  
〒020-0045  
盛岡市盛岡駅西通1丁目7-1 アイーナ6F